

2023 年度若獅子旗争奪『第 26 回オレンジボールカップ』実施要綱

- ① 目的 低学年時期から試合に出場して野球を楽しみ、ルールを覚えて、挨拶や礼儀を学ぶ
- ② 大会名称 若獅子旗争奪『第 26 回オレンジボールカップ』
主催：文京区少年軟式野球連盟
後援：若獅子クラブ、東京新聞、東京中日スポーツ
協力：世田谷区少年野球連盟、中央区少年野球連盟、台東区少年軟式野球連盟
- ③ 実施日 3月/3日・10日・17日・23日・24日・31日・4月/7日・13日・14日
- ④ 大会会場 文京区後楽少年野球場・六義公園運動場・目白台運動公園
- ⑤ 参加資格 男女共に小学3年生以下の編成で、大会日程に対応できるチーム(合同チーム可、但し選抜チームは不可)
- ⑥ 試合方法
- ・ 試合時間は四回戦(準々決勝)迄 60 分を過ぎたら新しい回に入らず均等回の得点で勝敗を決定(勝ち逃げ禁止規則は適用しない) 準決勝以降は時間制限なしで 5 回迄行う
 - ・ 本投間は 14M、塁間は 21M で行う。試合球はナガセケンコーJ 号(本部で用意)
 - ・ ベンチはトーナメント表の若い番号が 1 塁側、攻守は試合開始前にジャンケン
 - ・ すべて 3 回以降 7 点差でコールド成立。日没や雨天の場合は 3 回で試合成立。
 - ・ 同点の場合は 1 回のみタイブレーク方式(無死一・二塁、継続打順)を実施、決着がつかない場合は抽選。なお、準決勝以降は決着がつくまで行う
 - ・ 試合中は、バッター、ランナー、コーチ(選手)はヘルメットを着用のこと
捕手は防護用ヘルメット、マスク(スロートガード付)、ファウルカップを着用のこと
 - ・ 投手投球数は 1 日 60 球以内、60 球に達した場合はその打者が打撃完了するまで投球ができる。また一度退き野手となった場合、再登板は出来る。
 - ・ 幼年選手の投げ過ぎによる故障を防止するため、攻撃側が 10 得点を越えた場合はアウトカウントにかかわらず攻守交代(チェンジ)とする。また、20 点差がついた場合は、その時点で試合終了とする(文京低学年ルール)
 - ・ 外野金網フェンスに直接当たったフェアボールは本塁打とする(後楽少年野球場のみ)
 - ・ チームのユニホームを着用し、指導者背番号(28~30 番)をつけた監督及びコーチにかぎり、攻撃時にコッチャーボックスに入ることを認める
 - ・ ボークについては 1 回目から宣告する
 - ・ グランドのルールについては別途に定める
 - ・ その他は公認野球規則、全軟連特別規則、各会場ローカルルールに準ずる
 - ・ メンバー表は自チーム控えを含め 4 枚を大会本部へ提出、検印を受けること
- ⑦ 試合結果 連盟ホームページに掲載
- ⑧ 日程確認 雨天の場合の当日確認や日程確認 → AM7:00 に連盟ホームページで確認のこと
※人工芝グラウンドなので(後楽少年野球場)雨が止めば大会を実施します。
なお、電話の問い合わせは一切対応しません
- ⑨ 連盟HP 文京区少年軟式野球連盟 <http://www.bsnbb.jp>

以上